



新しい時代の消費生活、男女共同参画を自らが考える場を意味しています

# アイネス ホツと通信

i…愛情・情報・私 ne…新しさ(=new)次の時代(=next) s…消費 s…参画



## 家事男 カジダン 川柳展受賞作品



大分県では、平成23年3月に策定しました第3次おおいた男女共同参画プランの重点目標に「男性にとっての男女共同参画の意義についての理解を促進するとともに、性別による固定的な役割分担意識を解消するための意識啓発を行う」旨を明記し、男性の意識啓発を目的とした事業を展開しています。

本年度は「家事男(カジダン)」川柳展と称して、作品を募集しましたところ、県民の皆様から多数の優秀な作品の応募があり、表彰のうえ大分県立図書館、大分県立病院等で展示しました。

審査では、専門的な知識を有する大分県番傘川柳連合会の代表者の皆様と、男女共同参画にご見識の深い大分県男女共同参画審議会の代表者の皆様に選定をお願いし、特に優れた10作品と佳作40作品を選定しました。

<b>努力賞</b> 不器用と 言われて努力 家事男子 国東市 西尾南北様(50歳代)	<b>努力賞</b> 鬼部長 厳父に主夫と 早変わり 日出町 木村香紀様(50歳代)	<b>努力賞</b> 背にこども 片手にビール 台所 大分市 工藤英三様(50歳代)	<b>努力賞</b> アイロンに 妻が見とれる オレのワザ 日田市 でんぞん女様(50歳代)
---	--	--	--

<b>特別賞</b> 今日もババ キアラ弁作りに 精を出す 大分市 奥くま様(50歳代)	<b>特別賞</b> 食欲を そそる味噌汁 父の味 大分市 草野おかり様(50歳代)	<b>特別賞</b> ゴミの日の 井戸端会議 馴染むババ 大分市 けんけんママ様(50歳代)
--	--	--

<b>優秀賞</b> 我が家では 掃除洗濯 家事おやじ 竹田市 イクメン・カシメンばば様(50歳代)	<b>優秀賞</b> 家事育児 励む夫に 光る汗 中津市 杉本虎子様(50歳代)	<b>優秀賞</b> フライパン 器用に踊る ババの味 大分市 渡邊戦一様(50歳代)
--	--	---



選定委員会委員の皆さんです……左から、

- 大分県番傘川柳連合会 幹事長 高橋 紀代 様
- " 会長 泉 談亭 様
- 大分県男女共同参画審議会 会長 山崎 清男 様
- " 副会長 溝口 純子 様
- 大分県消費生活・男女共同参画プラザ 山戸 康弘 所長



i-ness  
アイネス  
相談ダイヤル  
月～金曜日  
(祝・休日を除く)

- ◆消費生活相談 097-534-0999 (9:00～17:30)
- ◆消費生活特別相談 097-534-0999  
第3日曜日(休館日)を除く日曜日(13:00～16:00)
- ◆食品表示110番 097-536-5000 (9:00～16:30)
- ◆男女共同参画についての申出 097-534-8477 (9:00～17:00)
- ◆女性総合相談 097-534-8874 (9:00～16:30)
- ◆女性のための仕事相談 097-534-8614 (9:00～16:30)
- ◆県民相談 097-534-9291 (9:00～16:30)

**業務(行政)に関する連絡先**

- 消費者行政に関すること(消費生活班) ☎097-534-2038
- 男女共同参画行政に関すること(参画推進班) ☎097-534-2039
- NPO行政に関すること(県民活動支援室) ☎097-534-2052
- 会議室利用に関すること(総務管理班) ☎097-534-2062
- その他のお問い合わせ(代表電話) ☎097-534-4034

## 新しい消費生活センターが生まれました!!

「電話ではなく直接話をきいてほしい」、「契約書を見ながら相談にのってもらいたい」といった消費者の声を受け止め、苦情相談や被害情報に適切に対応するために、消費者にとって最も身近な市町村の消費者行政は大切な役割を担っています。



平成25年2月1日に、竹田市の「消費生活相談窓口」が新たに「竹田市消費生活センター」としてスタートしました。

- 名 称 / 竹田市消費生活センター
- 所在地 / 〒878-8555 竹田市大字会々1650番地（竹田市役所内）
- 相談日 / 月～金曜日（平日のみ、祝・休日を除く）
- 時 間 / 8時30分～17時00分

★訪問販売、電話勧誘販売、インターネットトラブルなど消費生活に関して「おかしいな 困ったな」と思ったら、一人で悩まず、相談しましょう！  
※相談は無料です。秘密は厳守します。



相談専用電話 0974-63-4834

## 地域消費者フォーラム(日出会場)を開催しました!

テーマ: 「麹文化で学ぶ食生活～安全な食生活を次世代へ～」

講師 別府大学食物栄養科学部 教授 岡本 啓湖 氏

1月22日(火)に、日出町中央公民館において、地域消費者フォーラムが開催され、約180人が参加されました。

麹をはじめとする発酵食品について、栄養価が高いことは勿論のこと、健康維持にも効果があり、保存もきくといい機能性の高い食品であることを分かりやすくお話していただきました。



### 〈消費者団体の活動〉

7つの団体が構成されている「大分県消費者団体連絡協議会」は、「消費者月間の啓発」や「地域消費者フォーラム(県委託事業)」、「消費者事業者意見交換会」に取り組んでいます。

#### ◆構成団体◆

大分県地域婦人団体連合会  
大分県生活研究グループ連絡協議会  
大分県生活協同組合連合会  
JA大分県女性組織協議会  
大分県漁業協働組合女性部  
大分県生活学校運動推進協議会  
大分県母子寡婦福祉連合会

ここに注意!

## アパート退去時の「敷金返還」に関するトラブル

契約に特別な約束(特約)をしていなければ、修理代等の負担は

- ①経年劣化、通常の使用でできる傷や汚れ等の場合は**貸主負担**、
- ②管理が悪かったり、不注意による傷、通常使用を超える使用による損耗の場合は**借主負担**と考えられています。また、特約があっても、消費者に一方的に不当・不利益な契約条項は無効と考えられる場合もあります。

【アドバイス】 **トラブルを未然に防ぐには……**

- ①契約前に、契約内容(原状回復、負担など)をよく確認しましょう!
- ②入居時・退去時には貸主の立会いのもと、物件の傷や汚れなどを確認しましょう!

平成  
24年度

## 「おおいた女性未来づくり塾政策発表会」を開催しました！

大分県の審議会等における女性委員の登用率は上昇傾向にあるものの、依然として低い状況にあり、女性が政策や方針決定過程に参画する機会は、まだ不十分といえます。

そこで、女性が政策を企画・立案する手法を学ぶことにより、政策・方針決定過程に参画する機会を広げるとともに、実際に政策を作成・発表し、女性が必要と考える政策の実現を目的に「おおいた女性未来づくり塾」を開講しました。

塾生は昨年9月から、地方自治の基礎や政策立案に関する講座などを受講し、延べ6日間にわたり政策発表の内容を検討してきました。その成果として、2月7日に17名の塾生が以下の3グループに分かれ、それぞれのテーマで政策発表会を行いました。

塾生のみなさんの、今後の活躍が期待されます。

### 温泉県おおいた 新・深・心発見!!

#### 【政策発表の概要】

大分県における観光・地域振興と交流の活性化を目指し、ツーリズム戦略における女性専科事業として、県内及び近県の女性を対象に、女性の視点によるインターネットを活用した施策を考える。



### 未就学児を抱えた主婦を対象にした再就職支援事業

#### 【政策発表の概要】

地域社会の活性化に向けて、女性の潜在的な能力を引き出すため、子育て再就職支援センターを設置し、専属の再就職コンシェルジュが女性の再就職相談・情報提供や、企業に対する女性活用の啓発提案を行うことにより、雇用のミスマッチを解消し、新たな雇用機会を開拓する施策を考える。



### 高齢者の生き甲斐に繋がる コミュニティビジネスへの提案

#### 【政策発表の概要】

県内の元気な高齢者が生きがいを持った生活を送れるように、「協働」「社会貢献」「賃金」をキーワードに、地域コミュニティを活かした循環型のコミュニティビジネスについての施策を考える。



## 「大分県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル(仮称)」を作成しています。

昨年の九州北部豪雨の際、4市(中津市、日田市、竹田市、由布市)で県内外の約1万人の災害ボランティアの方々が家の泥出しや清掃などをしてくださいました。心から感謝申し上げます。

県では、今後災害が起きた際に、より円滑に「災害ボランティアセンター」を設置・運営できるよう、『県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル(仮称)』の作成に取り組んでいます。ボランティアを受け入れた被災者の方々とボランティアの方々のご意見を取り入れ、今回の災害の教訓を反映させたマニュアルとするため、「被災者アンケート」及び現在実施中の「ボランティアアンケート」の結果をとりまとめるうえ、本年3月末に完成の予定です。

## 円滑に災害ボランティア活動ができ、いち早い復旧ができるよう以下に取り組んでいきます。

今回の災害で多くのボランティアの方々に活躍をしていただきましたが、今後の県内での大規模災害に備え、よりスムーズな災害ボランティアセンターの運営に向けて、県では、大分県社会福祉協議会や各市町村社会福祉協議会と以下に取り組んでいます。



日田市での活動の様子

### 課題

- ・災害ボランティアセンターをボランティアや被災された方々に便利のよい場所に素早く設置すること。
- ・被災された方々の需要を十分に把握して、適切なボランティアを派遣すること。
- ・災害ボランティアセンターの運営をスムーズに行える人材を確保する。など

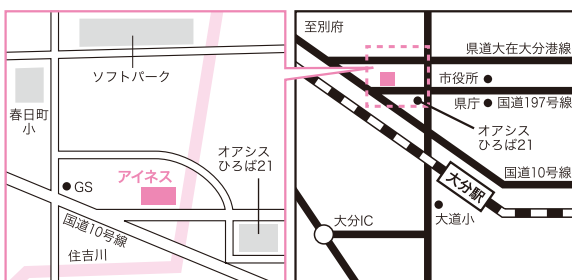
### 取り組んでいること(H24)、今後取り組むこと(H25以降)

#### 平成24年度

- ◆被災市(中津市、日田市、竹田市)での検証会議
- ◆被災者への聞き取り調査……★ボランティアへの感謝など様々な声が寄せられています。
- ◆ボランティアへのアンケート調査
- ◆『大分県災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル(仮称)』作成……平成25年3月末完成予定

#### 平成25年度以降

- ◆**災害ボランティアセンター運営のための研修会を行います。**  
(県・市町村社会福祉協議会や県職員、市町村職員などを対象)  
ニーズ調査の方法や、資機材の調達方法、県外とのネットワーク拡大などを学びます。
- ◆**市町村ごとの災害ボランティア担当者のネットワークを強化します。**  
平時から「お互いの顔が見える関係」を作るため、定期的に意見交換をして、発災直後から災害ボランティアセンターがスムーズに運営できるようにします。
- ◆**市町村版災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成(平成25年度中に完成)**  
平成24年に県が作成した標準マニュアルを、各市町村の状況に応じカスタマイズしたものを作成し、より実態に沿ったものにします。



## 大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》

〒870-0037 大分市東春日町1番1号(NS大分ビル1階)

電話 097-534-4034(代表) FAX 097-534-0684

ホームページ <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>

Eメール [a13040@pref.oita.lg.jp](mailto:a13040@pref.oita.lg.jp)

アイネス★ホットと通信・2013年3月号(平成25年2月25日発行)/大分県消費生活・男女共同参画プラザ《アイネス》

\* アイネスや「アイネス・ホットと通信」に関するご意見・ご感想をお寄せください。